



# 鶴屋百貨店にディスプレイ

2月14日のバレンタインデーを1カ月後に控え、熊本市中央区の鶴屋百貨店ショーウィンドーに「バレンタインディスプレイ」がお目見えした。

地域の企業と若者による街の活性化を目的に2013年にスタート。6回目の今回は崇城大（熊本市西区）芸術学部の学生が制作した「The Heart of Roses」。

森野晶人教授と甲野善一郎准教授のゼミ生11人が縦2.1m、横4.5mのパネルに4350個のバラの造花を並べて真っ赤なハートを中央に配し、紫やピンク、赤の放射状のデザインを描いた。「1 一目ぼれしちゃった」「3 愛してるよ」など、本数に応じた花言葉と数字も配した。

制作リーダーの3年、白石友梨花さん(21)は「組み立てるまでが不安だったが、色鮮やかで恋する人の気持ちが伝わる作品になった」と話した。2月14日まで展示される。【杉山恵一】

## バラ造花使用 崇城大生制作



崇城大の学生たちが制作したディスプレイ